



た わ ら こ

田原っ子



令和7年12月10日発行 第14号(12月号②)

田原小学校 校長 広谷 光輝

☆学校教育目標☆

「様々な課題に向き合い、自ら主体的に物事に取り組むことのできる子どもの育成」

☆田原こ小中連携スローガン&めざすこども像☆

田原はひとつ! ~あいさつと笑顔でつながろう~ 「はなそう つながろう やってみよう」

世界人権デーに考えてみませんか?

今日は世界人権デーです。これは、1948年に国連で世界人権宣言が採択された日になります。日本の法務省人権擁護局は『人権の擁護』と題した冊子に、「人権」とは、『すべての人々が生命と自由を確保し、それぞれの幸福を追求する権利』あるいは『人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利』であり、誰にとっても身近で大切なものの、違いを認め合う心によって守られるものだと考えています。子どもたちには対しては、『命を大切にすること』、『みんなと仲良くすること』と話しています。」と書いています。人が人として生きていくために、誰でも、いつでも、どこでも、守られるべき基本的な権利。それが人権です。



では、学校での人権はどうでしょうか? 最近、教室をまわっていて、子どもたちの発する言葉に気になることがあります。「死ね」「殺すぞ」「消えろ」「どっかいけ」このような言葉、子どもたちはいったいどこでどのようにして知り得たのでしょうか?もちろん本心で言っているのではないでしょうし、発した本人は何とも思っていないかもしれないし、言ったことすら覚えていないかもしれません。でも言われた方、(それは子どもに限りません。教師であってもです。)は心に深く傷を残すことがあります。それを考えると…残念なりません。子どもたちの周りにいる我々大人が日頃の言葉遣いについて見つめなおし、もう少し人権を意識した発言が大切になってくると思います。

『命を大切にすること』、『みんなと仲良くすること』そんなに難しいことではありません。今日は世界人権デー。一度お家の方でもお子さまとゆっくり“人権”について話してみてください。

学習の様子を紹介します①



四條畷市身体障がい者福祉会ろうあ部会の方にお越しいただき、4年生が手話教室を行いました。

お話の中では、口元を見ればわかる言葉もあるが、「たばこ」と「たまご」のように分かりにくいものも多い
ということも話されてました。

ハンドサインも教えていただき、子どもたちも興味を持ちながらしっかり話を聞くことができました。



学習の様子を紹介します②



PTAの人権講演会もかねて、井上鈴佳さんをお招きし、性の多様性についての人権講演会を行いました。運動会でダンスの指導に来てくださった光本さんにもゲストティチャーレイコとして来校していただき、ご自身の体験談を交えお話を聞かせていただきました。

当事者のお話を聞きする機会は貴重な経験です。参加いただいた保護者の方にもきっと得るもののが大きかったのではないかとおも思います。



学習の様子を紹介します③



四條畷市の人権擁護委員の方が、四條畷市内の小学校1年生を1校ずつ訪問し、友だちの大切さ等をお話ししていただき、みんなでチューリップの球根を植える「人権の花」運動に参加しました。まだ、人権について深く理解するには難しいかもしれないですが、先にも書きましたが、友だちを大切にすること、命を大切にすること、これが基本です。1年生でもしっかりとわかったように思います。毎日水やりも頑張ってくれています。